



1.あいさつ及び検討委員会の進め方について

●平洲小学校施設整備方針の内容は？

学校関係者、保護者・地域住民によるワークショップや児童生徒のアンケート調査からいただいた意見を基に、施設改築のコンセプトを整理し、施設配置・収容機能について、まとめていきます。

●今後のスケジュールは？

保護者・地域住民分科会は、教職員分科会との合同開催を含め、全3回を予定しています。
毎回テーマごとに意見交換を行い、いただいた意見を参考にしながら、令和8年度中に「平洲小学校施設整備方針」を策定します。

2.ワークショップ

進行役を鈴木賢一委員(名古屋市立大学特任教授)にバトンタッチし、校舎の配置イメージ、教職員分科会での意見、児童・生徒アンケートの結果を踏まえ、保護者と地域住民の混合で2チームに分かれてテーマごとに意見交換しました。
最後に各チームの意見を発表しました。

テーマ

保護者・地域住民にとって、どんな学校施設であってほしいか

保護者・地域住民が思う新しい平洲小学校に必要な施設・機能

<議論ポイント>

校舎の配置について、

- ・案1 平洲中学校敷地の南側に小学校校舎を新設
- ・案2 平洲中学校敷地の西側に小学校校舎を新設
- ・案3 北館を解体し小学校校舎を一体的に新設、小学校体育館を新設

議論のたたき台として上記の3案をベースに、児童・生徒アンケートの結果を踏まえ意見交換をしました。
平洲小学校跡地は、第二運動場と教職員駐車場としての活用を想定していますが、使い方や移動方法に関して保護者・地域住民の視点から意見交換をしました。

避難所として

ここが期待できる！(連携できる)

- 体育館を避難所として使うため、2つあると無理なく過ごせる
- 調理室など、災害時を想定した機能の共有

ここがどうかな？(課題・不安)

- 体育館の中もしくは近くに防災倉庫や炊き出しスペースが必要

平洲コミュニティの場所・機能について

ここが期待できる！(連携できる)

- コミュニティ事務室の近くに防災倉庫を設けることで、普段から目が行き届き管理がしやすくなる
- コミュニティ拠点として、トイレ・シャワー・キッチンを設け、日常的にも使いながら管理ができる

ここがどうかな？(課題・不安)

- 敷地の出入口は、夜間や休日でも学校側に頼まず出入りできるよう鍵の運用を工夫してもらいたい

平洲小学校跡地活用について

ここが期待できる！(連携できる)

- 地域開放時の利用者の駐車場として使用できる

ここがどうかな？(課題・不安)

- 体育の授業の際には大勢の生徒が公道を一齐に移動することになるため、移動時における安全性の確保が必要(歩道橋でつなぐなど)

その他

- ・保護者が集まりやすいサロンのような場所があるとよい
 - ・小学生と中学生が交流できる場所を設けたい
 - ・全館空調、自然エネルギーの活用
- など意見がありました。

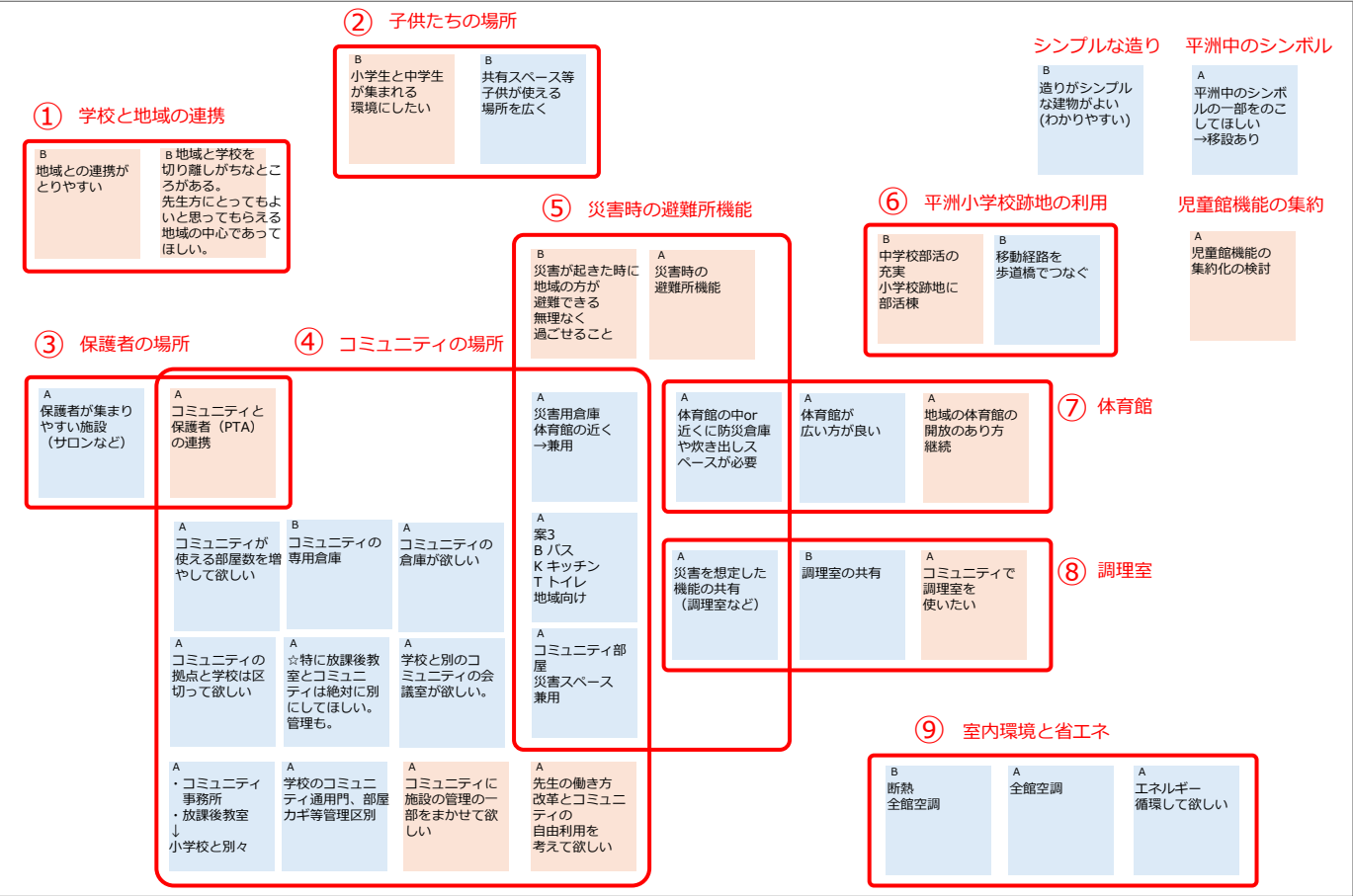
ワークシート

テーマ

保護者・地域住民にとって、どんな学校施設であってほしいか

保護者・地域住民が思う新しい平洲小学校に必要な施設・機能

A：Aチームの意見
B：Bチームの意見
赤色：ソフト（運用、あり方について）
青色：ハード（施設、設備について）



ワークショップの様子

